

時代は中央

鶴岡中央高等学校
PTA広報部発行
2026.3.1 第74号



卒業生のみなさんへ



山形県立鶴岡中央高等学校
PTA会長
齋藤 友和さん

桜咲く、新しい時代の 主役たちへ

鳥海山の雪解け水が川を満たし、庄内平野に春の息吹が満ちて来る頃。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして、今日までお子さんの成長を一番近くで見守り、毎日のお弁当作りや送迎など、縁の下での力持ちとして支えてこられた保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。心からお祝い申し上げます。

三年前、少し大きめの制服に身を包んでいた皆さんが、今ではこんなにも頼もしい表情で旅立とうとしています。鶴岡中央高校での毎日はどうでしたか？

授業や部活動、行事はもちろん、友人との他愛ないお喋りや、進路に悩み立ち止まった時間。そのすべてが、これからの皆さんを支える「根っこ」になります。

広報誌のタイトル「時代は中央」には、「いつの時代も、自分自身の人生の『真ん中(中央)』を生きてほしい」という願いが込められていると私は思います。

これから歩む道で、もし壁にぶつかったら、この学び舎で過ごした日々や、先生方、そして仲間の顔を思い出してください。ここにはいつも、皆さんの味方がいます。

令和八年、春。新しい時代の扉を開けるのは、他の誰でもない、皆さん自身です。どうか自分らしく、胸を張って、自分の信じた道を歩んでいってください。

皆さんの未来が、笑顔と幸せで溢れることを願っています。卒業、本当におめでとう！

卒業おめでとう！旅立ちによせて

ふるさとを誇りに想いこころ！



校長 田村 裕 先生

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年を振り返ると、鶴岡中央高校三年生として後輩を良くリードし、良き伝統を後輩たちに繋げてくれたと思います。部活動、中央祭、球技大会等様々な行事で、その思いを存分にパフォーマンスしてくれたと感じます。私が特に印象深かったのは、十二月に行われた探究学習発表会でした。高校での学びの集大成として、自らの興味関心に応じて取組んだ研究について、とても素晴らしいプレゼンをしてくださいました。探究的な学びから得

たものは、皆さんにとって非常に大きく、有意義なものだと思います。その得たものを今後の人生の中で活かし、自分の可能性をもっともっと広げて、持続可能な地域、魅力溢れる地域づくりの一翼を担う人材になって欲しいと切に願っています。卒業後は、この地域を離れる人も多くいるとは思いますが、故郷庄内・鶴岡の魅力为全国の人々に伝えてください。皆さんは、海山川に恵まれ、四季折々の自然、世界に誇れる食文化や歴史と伝統に囲まれて成長してきました。鶴岡は今後注目される地方都市になっていくはずですが、そんな故郷を次の世代に繋ぐためにも、故郷を思い、大いに故郷を自慢してください。そして将来はぜひ庄内の地に戻り、交流人口や関係人口、ひいては定住人口を呼び込む存在になってくれたらと思っています。

皆さんの今後の更なる活躍を期待しています。

しなやかな強さで、明日の風と共に歩む



三年次主任 齋藤 裕子 先生

三年前、大きな期待と少しの不安を胸に本校の門をくぐった皆さんが、立派に成長して旅立つ姿を見ることは、私たち教職員にとって大きな喜びです。皆さんの高校生活は、社会が大きく揺れ動く時期と重なりました。かつてのコロナ禍のように、私たちは誰も経験したことのない予期せぬ困難や、正解のない問いに直面することがあります。これから歩む社会も、決して平坦な道ばかりではないでしょう。しかし、そんな予測不能な時代だからこそ、状況の変化を恐れず、折れない心で柔軟に対応する「しなやかさ」を持ってほしいです。

強い風に吹かれても、柳の枝のように受け流し、また自らの力で立ち上がる。そんな強さを持ってください。そして何より、これからは誰かの指示を待つのではなく、自分自身の価値観で物事を考え、判断していかなければなりません。二一四名の仲間と切磋琢磨したこの六クラスでの思い出を糧に、自分の選んだ道を力強く踏み出してください。皆さんが、自らの手で納得のいく未来を切り拓いていくことを、心から応援しています。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。今日まで、お子様を慈しみ支えてこられ、様々なご苦労もあったこと存じます。三年間、本校の教育活動にご理解と温かいご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。遅しく成長したお子様の可能性を、これからも信じて見守っていただければと思います。



3年1組



1組担任 伊藤美奈子 先生

先日、皆さんの入学式の日の写真を見つめました。中学校を卒業したばかりのあどけない顔には緊張と不安が満ちあふれ、制服もまだ馴染んでいませんでした。あれから三度の季節が巡り、苦しいことも楽しいこともたくさんを経験し、心身ともに強く逞しく成長しました。顔つきもすっかり凛々しくなりましたね。振り返ればあっという間でしたが、底抜けに元気で素直で心優しい皆さんと三年間関わる事ができたこと、本当に幸せでした。これからはそれぞれの道を歩み始めるわけですが、体にはくれぐれも気を付けて。行ってらっしゃい！



安野 はな さん

三年一組は生徒会役員や部活動など何かに熱心に取り組む人が多く、一人ひとりの異なる強みを中央祭や球技大会で存分に発揮していました。普段の生活でも笑顔が絶えず、和気あいあいとしたクラスでした。三十七人の仲間達と過ごした色褪せないことのない日々を胸にそれぞれの進路先でも頑張りましょう。



2組担任 佐藤 実穂 先生

高校三年間というのは飛行機が離陸して目的地に出発する様のような感じだと思います。入学式で搭乗完了、いよいよ動き出すのが一年次だとすると、そこからゆっくりと旋回し、滑走路に入るのが二年次。三年次にエンジンを大きく鳴らして力強く加速、ふわっと浮き上がって大きな空に旅立つ感動的なあの瞬間をまさに今迎えているんですね。向かう空はそれぞれだけど、新しい出会いが次の目的地で待っています。いつか一回り大きくなった飛行機でまた大空を飛行する君たちを見上げる時が来るのかな。コマンダー、大きく飛び立て！！



3年2組



石川 翔 さん

三年二組は中央祭でクラスのために協力し、皆が楽しめるよう主体的に動いた。球技大会では競技を通して絆を深めた。二大行事を経て利他的な姿勢が育ち、達成感を共有できた。行事後も授業や進路に真剣に向き合う一生懸命なクラスです。担任の実穂先生の支えも大きいです。



3年4組



石塚 真由 さん

私は、四組で楽しく充実した生活を送りました。今年は、H R委員長の仕事や受験に追われる年でしたが、四組の明るくて自由奔放な雰囲気は元気をもらっていました。これからは、それぞれの道を行きますが、クラスのみんながこれからも楽しく生活していくことを願っています。



4組担任
石川いずみ 先生

私は、自分でもボケていると思う。生徒の名前も間違えるし、ミートも上手く繋げない。三度同じことを聞いても、答えてくれてありがとう。熊にも感染症にも受験にも、元気で立ち向かってくれてありがとう。もっと若い担任だったら幸せなのかな、と思うこともあった。でも私は、可愛い生徒や優しい先生方に出会えて幸せだった。本当に、卒業おめでとう！
上手くやれなくなっちゃっていいんだよ そのまま生きていきなさい 行きなさい (玉置浩二「ファンファーレ」)



3年3組



3組担任
富樫 智子 先生

「今日は迎えなので、何時でも大丈夫です！」放課後の進路指導で時間が遅くなり、どこか帰るか聞くと、三組の皆さんはよくこう答えました。いやいや、何時でも帰っていいんじゃないでしょうか、お家には連絡してある？はい、今日はお姉ちゃんです。そう嬉しそうに話す笑顔に家族全員からの応援を感じ、私も幸せでした。楽しいときもつらいときも、いちばん近くで支えてくださったご家族の皆様には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これから社会に旅立つ卒業生の皆さん、どこに行っても、どんなときでも、あなたを応援しているご家族や母校があることを忘れず、全力で進んでください。卒業おめでとう！



佐藤菜優花 さん

私連三年三組は、毎日明るく元気で、お互いを尊重し合えるクラスです。ときには意見が対立することもありましたが、皆で話し合い、協力して物事を進めることができました。共に過ごした日々は沢山の学びがありました。その学びを忘れず、卒業後も大切にしていきたいと思えます。



3年6組



大川奈那子 さん

このクラスの一番の思い出はやはり球技大会です。みんなで声を出し合い、惜しくも二位だったあの悔しさと達成感は今でも覚えています。あの時深まった絆があったから最後まで楽しく過ごせました。この最高のメンバーと二年間を駆け抜けたことを誇りに思います。みんな本当にありがとう!!



6組担任
阿曾 美幸 先生

「初めまして」でスタートした四月。様々な思いを抱えながら、三年六組の三十四名と過ごしてきました。このクラスの私の目標は「全員そろって卒業すること」。勉強はとても大切です。しかしながら、自分も子を持つ保護者として、「毎日元気に登校すること」がいかに大変なことかと感じるが多々あります。だからこそ、今日この日をみんなで迎えられることが、本当に嬉しい。みんなの人生のなかではわずかな時間でも、一緒に過ごし、一緒に駆け抜けたこの一年は私の大切な時間です。卒業本当におめでとう！



3年5組



5組担任
加藤 菜奈 先生

教員二年目の春に皆さんと出会いました。三年間を振り返るとほぼ毎日怒っていたかと思いますが、賑やかで純粹で素直な皆さんと一緒に色々なことを学んで、成長できて、笑い合えた日々が何よりの宝物です。皆さんの担任になれて、本当に良かった！ラッキー！でした☆これから社会に羽ばたいていく皆さんの頼もしい後ろ姿を見届けることができ、寂しさよりも、嬉しさが勝ります…。と言いたいところですけど、やっぱり寂しいもんは寂しい！しかし卒業おめでとう！高校生活での貴重な経験を今後の糧にして、たくさんの方に挑戦して下さい！応援してます！



今野 智貴 さん

三年五組はいつでも明るくとても賑やかなクラスです。二大行事ではもちろん全力で取り組みました。球技大会では各競技、楽しみながら本気で動き、声が枯れるほど応援したのはとてもいい思い出です。卒業して先生やみんなと離れるのは寂しいですが、それぞれの道で頑張っていきたいと思います！



2年次

関西修学旅行記

各クラスの修学旅行委員に思い出を語ってもらいました!!



楽しかった修学旅行



二年一組
壬生 宗佑さん



今回の修学旅行では、奈良・京都・大阪を巡り、それぞれの土地の魅力を肌で感じる事ができました。奈良公園では、鹿せんべいを持っていくと、鹿がたくさん寄ってきて、とても可愛かったです。京都では、清水寺や伏見稲荷に行ったり、食べ歩きをしたりしました。清水寺では、長い坂道を登った先にある寺から見える京都の景色はとてきれいでした。他にも普段食べない物をたくさん食べることができてとても楽しかったです。

大阪では、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行き、友達とたくさんのアトラクションに乗ることができ、かなり疲れましたが、とても楽しかったです。

この修学旅行で感じた楽しさや発見を大切に

楽しかった班別研修



二年一組
齋藤 柚奈さん



初めて行った京都での班別研修では、初めての地下鉄でどの路線の電車に乗ればいいのかわからず駅員さんに教えてもらいながら予定より遅れて嵐山に行きました。目的地に着いた時すぐホッとしました。その後着物の着付けをして竹林の小径や天龍寺、いろんな観光地に行き班のみんなととても楽しめました。着物を着ているからかすごく外国人に話しかけられたい写真が撮りました。英語が使えなくてもなんとなくコミュニケーション取れるものだと感激しました。

予定していた場所に時間内に着かなかったり着物が動きづらかったりハプニングもあったけど全部楽しくていい経験になりました。



にしながら、これからもみんなと笑顔で過ごしていきたいと思えました。人生最後の修学旅行はあっという間でしたが、全力で楽しむことができて最高でした。



●修学旅行スケジュール

1日目 11月16日(日)	学校→→仙台空港→→神戸空港・伊丹空港→→奈良公園→→(東大寺・二月堂・春日大社)→→金波楼
2日目 11月17日(月)	金波楼→→京都班別自主研修(京都市内)→→金波楼
3日目 11月18日(火)	金波楼→→コース別研修→→ユニバーサルスタジオジャパン→→オリエンタルホテル・ユニバーサル・シティ
4日目 11月19日(水)	ホテル→→道頓堀散策→→なんばグランド花月→→神戸空港・伊丹空港→→仙台空港→→学校

日本の歴史を学ぶことができた修学旅行



二年三組
大坂 史弥さん



私は三泊四日で関西に修学旅行に行きました。

一日目の奈良では奈良公園で鹿とふれあい、阿形と阡形の像を鑑賞したり、東大寺に行き奈良の大仏を見たりなど多くの歴史に触れ、鑑賞することができました。また、建造物は思っている数倍も大きくて歴史の深みを知ることができました。

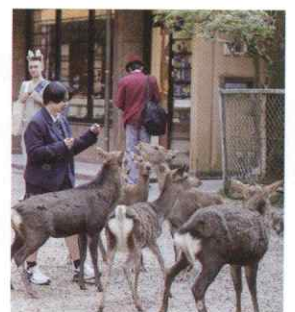
二日目は京都で自由行動をして多くの建造物を見ることができました。私たちの班は伏見稲荷大社と清水寺に行きました。伏見稲荷大社では千本の鳥居は迫力がすごくあり、清水寺では本堂は遠くから見ても美しく、近くに行ってもすごく大きくて感動しました。



三日目は大阪のUSJに行きました。友達と色々なアトラクションに乗ったり、お土産を買ったりしてとても楽しかったです。四日目は大阪の道頓堀などを散策しました。修学旅行は歴史に多くふれられてとても楽しい修学旅行でした。

●コース別研修

コース名
生きているミュージアムニフレル
国立民族学博物館
大阪府立自然史博物館
国立国際美術館



過去から今へ受け継がれるもの



二年四組
富樫 知菜さん



修学旅行では、奈良・京都・大阪の三つの県へ行った。行く前は学ぶための旅行とはわかっていながらも、正直にいうと楽しむことが一番の目的だと思っていた。しかし、実際にはそれ以上に多くの学びを得ることができた。

中でも奈良では東大寺で大きな大仏や金剛力士像など、今まで写真でしか見たことのない建造物を見た。大仏は何度も火事や戦争で壊れたが、そのたびに人々の力で修理・再建されてきたという話を聞き多くの人の協力で文化は守られてきており、歴史は「昔の話」ではなく、今につながっているということを感じることができた。さらに班行動の時の協力と思いや

文化の両立



二年五組
五十嵐 研家さん



関西への修学旅行は高校生活において最も印象的で有意義な経験となりました。特に印象的だったことは、京都と大阪の風景や街並み、文化の対比でした。京都の班別研修では、金閣寺や清水寺の厳かな佇まいと歴史と現代の融合した街並みに魅了され、日本の伝統文化に触れることができたことはとても貴重な経験になりました。

一方、大阪では、USJや道頓堀を訪れ、活気のある現代的な文化に触れながら、友人と共に楽しみました。過去と現在の街並みと、日本の伝統文化に触れることができたことはとても貴重な経験になりました。

りを班のみんなから学んだり、班長として班員に「伝える」ということの大切さを実感した。

今後、学校生活をしていく上でも修学旅行で学んだ行動は重要になってくる。歴史を学ぶ授業でも「昔の話」ではなく今につながっているということをお忘れなくように学びたい。



この修学旅行を通じて学んだことは、集団行動での自律と協調の両立の大切さです。班別研修では計画から互いに意見を出し合い、助け合いながら活動しました。大勢の仲間に影響する中で時間管理や周囲への気配りの大切さを改めて学ぶ機会となりました。この経験を今後の生活に活かしていきたいです。



清水寺



二年六組
長谷川 隆文さん



今回の修学旅行で印象に残った場所は清水寺だった。清水寺前の清水坂では、石畳の坂道で風情があった。坂の両側に伝統的なお店があり、京都らしい雰囲気を感じた。清水坂を登り、仁王門が見え赤い建物で迫力があった。清水寺の中に入り、大銅杖を四人のグループで持ち上げることができた。本堂の舞台から見た景色は、写真で見るとよりずっと迫力があり、季節が秋という理由もあり紅葉も美しかった。釘を使わずに建てたとは思えない美しさがあった。長い年月を経て残されてきた建物を目にし、多くの人々が守り続けてきた努力を感じ、すごい場所に来ているのだと実感した。

清水坂を降り、下から見た三重塔も迫力がすごかった。最後に清水寺の音羽の滝の水を飲んだ。いつも飲んでる水と全然違う味で、願いが叶いそうな気がした。



1年次

キャリア体験学習・大学企業見学

未来の自分が
見えてきました



10/21(火)・22(水)

WAKU WAKU WORK



11/17(月) 進路希望ごとのバスで出発

総合コース	東北学院大学→尚絅学院大学
看護医療コース	新潟医療福祉大学→新潟青陵大学
教育系・公務員コース	東北文教大学・東北文教大学短期大学部→羽陽学園短期大学
福祉・医療コース	東北文化学園大学→山形医療技術専門学校
工学・美術系コース	山形大学工学部→東北芸術工科大学
企業見学／就職を見据えた進学コース	産業技術短期大学校→東北エプソン株式会社→丸善食品工業株式会社→松文産業株式会社



進路ガイダンス 10/29(水)



探究学習 発表会

12/19(金)



〈情報ビジネス系列〉



▲鶴岡大産業まつり

〈家政科学系列 保育系〉



▲幼稚園での紙芝居実演

〈社会福祉系列〉



▲地域高齢者に向けたフレイル予防体操

〈家政科学系列 食物系〉



▲お弁当コンテスト



▲伝統料理講習会



▲かまぼこ実習



〈家政科学系列 被服系〉



▲12/21 Silk Girls Collection 2025 「Chronos Silk」

〈美術・デザイン系列〉



2026 1/25(日)～2/5(木) 10:00～17:30
鶴岡アートフォーラム



▲1/25～2/5 美術・デザイン系列展 (鶴岡アートフォーラム)



茶道部

◎初釜茶会



演劇部

◎東北大会

部活動

「ここだけの話」 優良賞



三年次進路報告

進路決定に向けて



三年一組
佐藤 由菜さん

私は、弘前大学理工学部地球環境防災学科に総合型選抜で合格しました。自分が好きなことについてしっかり話せるようにたくさん調べたり、本を読んだりしました。志望理由書や面接練習では、たくさん先生の協力していただきました。評定を上げることやボランティアにもしっかり取り組むことができました。みなさんの進路が実現できるように願っています。

実った努力



三年四組
高橋 莉愛さん

私は宮城文化服装専門学校ファッションビジネス科に特待生入学で合格しました。特待生入学は、ファッション分野でのコンテスト入賞、または実績が学校に認められることが条件です。私は検定とデザイン画コンテストの両方に挑戦しました。二年生の秋に進路を進学へ変更しましたが、短い期間で検定勉強に取り組んで無事合格することができました。その後、応募した作品の一つが奨励賞を受賞し、努力が実を結びました。最後まで自分を信じて頑張ってください。

進路実現に向けた取り組み



三年一組
後藤 来夢さん

私は東洋大学第二部経済学科に総合型選抜で合格しました。七月から小論文と志望理由書の作成に取り組みましたが、大学で経済に関わる何を学びたいのかが明確に言葉にすることが難しく、何度も先生に添削をお願いしました。現在は生成AIもありますが、自分の言葉でなければ進路先に対する熱意は伝わりません。後輩の皆さんには、早い段階から進路に関係する本を読んだり、ネットで情報を集めたりして、考えを深め、言葉の引き出しを増やしてほしいです。心から応援しています。

職種決め方



三年五組
阿部 美潮さん

私は福祉施設の放課後等デイサービスという職種にて、内定をいただきました。福祉関係の仕事が沢山ある中で放デイを選んだ理由は、企業見学に伺った際に子ども一人ひとりに寄り添いながら成長を支える仕事に魅力を感じたからです。他にも同じ職種の企業を二つ見学に行きましたが、それぞれの職場の雰囲気と比較し、自分が一番働きたいと思える環境で、楽しく仕事ができるかどうかを重視して選びました。自分に合った進路が分からない人も多いと思いますが、これからの自分の人生にかかわることなので、後悔しない選択ができるよう時間をかけて焦らず慎重に考えることが大切だと思います。

好きを信じて



三年三組
吉住 咲羽さん

私は東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科に総合型選抜で合格しました。高校入学後、進路について悩み、自分の本当にやりたいことが分からなくなりましたが、進路ガイダンスなどを通して好きな分野に進学することを決めました。進路実現のため、エントリーシートの作成と面接練習に力を入れて頑張ってきました。本当にやりたいことだったからこそ全力で向き合えたのだと思います。自分の好きなこと、やりたいことに向かって頑張ってください。応援しています。

進路実現に向けて



三年六組
齋藤 聖奈さん

私はOKリーサーキットテクノロジー株式会社鶴岡事業所に内定をいただきました。同じ職種の企業を三つ見学したのですが、その中から会社の環境や雰囲気、仕事内容などが一番自分に合っているか考え選びました。進路実現のためには自分の力はもちろんですが、家族や友人、先生といった周りの方々の助けもあってこそだと思います。常に感謝の気持ちを忘れず、自分の力を信じて進路実現に向けて頑張ってください。応援しています。



進路指導課長
田中 裕康 先生

進路の窓

卒業予定者二四名中、一月十六日時点で進路決定者は一九七名となっています。進学者の内訳は、四年制大学が三十九名、短期大学が十六名、短期大学校が六名、看護医療専門学校が十九名、その他専門学校等が六十八名です。国立大学は弘前大学理工学部で総合型選抜一名、東北公益文科大学公益学部で総合型選抜一名、学校推薦型選抜四名と健闘しました。全国的な傾向として年内入試と呼ばれる総合型選抜(AO入試)と学校推薦型選抜推薦入試の進学者が多くなっていますが、本校も同様の傾向となっています。看護医療系では令和七年四月に新校舎が完成した荘内看護専門学校に推薦入試で7名が合格しています。一方、民間就職の内訳は、県内内定者が三十二名、県外内定者が十七名となっています。今年度の特徴としては県外希望者が多くなっています。高卒求人数は一昨年度から引き続き多く、売り手市場の傾向が続きました。しかし、今年度は一回目の選考試験で内定を得られなかった生徒が昨年より多く見られました。これは、単に面接の出来だけでなく、基礎学力、高校生活での取り組み、そして欠席日数に至るまで、企業がこれまで以上にシビアに評価していることと表れたと強く感じています。公務員は国家一般職に一名が合格しましたが、全体としては大変厳しい結果となりました。進学先および就職先の詳細については、月に発行する進路課だよりでお伝えしますのでそちらをご覧ください。具体的な進路希望をできるだけ早く決め、その目標に向かってコンプレックスと努力を継続していくことが進路目標実現の秘訣です。ご家庭でもお子様と進路について話をする時間を確保してくださいませようお願いします。なお、進路指導課ではホームページも作成していますのでぜひご覧ください。



学校で付与している生徒用googleアカウントでアクセスできます。

令和7年度 PTA専門部会事業・会務報告

●生徒育成部 会務報告

月日	事業名
5月22日	第1回部会
6月28日	中央祭巡回指導
10月7日~10日	朝の登校指導
12月19日	第2回部会

●広報部 会務報告

月日	事業名
6月12日	第1回部会
6月27日~28日	中央祭写真撮影
1月23日	第2回部会



編集後記

第七十四号の時代は中央は生徒たちの頑張りや、学校生活にあふれる表情を感じていただける広報誌となりました。制作にあたり、ご協力くださった先生方、関係者の皆様へ感謝申し上げます。本誌を通して、生徒たちの学校での様子や教育活動が少しでも皆様に伝われば幸いです。

今後とも素敵な広報誌が長く発行されることを願っております。
PTA広報部長 武田 史織